

# 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

令和3年度全国学力・学習状況調査が6年生を対象に行われました。この調査は、学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。国語・算数及び質問紙による調査結果を以下のようにまとめました。

## 1. 学力に関する調査の結果から

### (1) 国語

令和2年度から「聞くこと」「話すこと」を重点に学習指導をしてきたことで、国語の「話すこと・聞くこと」の力は身に付きつつあると考えられます。

#### □課題と対策

- ・説明の内容を適切に選んだり、要点を踏まえて説明を書いたりすることに正答率の低さが見られました。これまでの話し方指導に加え、「要するに」「つまり」「ポイントは」などを教師が問い返すことで、思考を整理し、要点を的確に話せるように指導をしていきます。
- ・漢字では熟語は書けるが送り仮名のある漢字が書けないことが分かりました。これまでの漢字ドリルの学習に加え、音読と教科書写し（文章を書くことで熟語と送り仮名のある漢字）の定着を図る。また、習った漢字を積極的に使うノート指導を行ってきます。

### (2) 算数

子どもが主体となって学習する授業に取り組んできましたが、個人追究や学び合いは、算数の知識・技能や思考・判断、特に表現力を身につけるには、まだ至っていないことが分かりました。

#### □課題と対策

- ・三角形の面積を求める公式は分かっているが、三角形の底辺がどの辺とするかで不正解となった回答が見られました。これは、図形の性質の正しい理解ができていないことが考えられます。北西タイム（朝の帯学習の時間）を使って、基礎基本の定着に力を入れていきます。
- ・小数の問題では30mを1としたとき、12mが0.4となることを説明する問題に誤答が多く見られました。式にあらわした内容を数直線や図を使って、どのように考えたのかを説明する時間を確保し、自分の言葉で説明することができるように指導していきます。

## 2. 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査の結果から

### ◇学校生活について

- ・「学校に行くのが楽しい」に「当てはまる」と回答した児童は約65%でした。今後も子どもが主体となって取り組む授業やよき見つけを児童とともに取り組んでいます。

### ◇いじめについて

- ・「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」と回答した児童は約90%でした。あったか言葉やよき見つけを通して、100%になるように取り組んでいきます。

### ◇生活習慣について

- ・「早寝・早起き・朝ご飯」に関する内容は、約80%の児童が「できている」と回答しています。今後もPTAを中心に学校と家庭が連携して取り組んでいきます。
- ・「2時間以上家庭学習を行なっている」と回答した児童は約55%でした。自ら学ぶ子をめざし、今後も家庭との連携に取り組んでいきます。

